

☁️ こんにちは ☁️

「はちのへ創造学」



の情報発信コーナーです (3)

R6.2.

令和5年度から青森県の事業として「総合的な探究の時間：あおもり創造学」が始まりました。これを本校では、まず地元を知って欲しい、という思いのもと



「はちのへ創造学」として始動しました。

前回のお知らせでは

12月までの結果の分析・まとめ、発表の準備の様子を紹介しました。

今回は、発表会の様子をお知らせします。

### 1月16日(火)分野ごと発表会が開かれました。

この1年間、「農林水産」、「工業技術」、「医療・福祉」、「商業」、「自然環境」、「教育」、「芸術・スポーツ」、「観光業」の8つの分野に分かれ、グループ単位で探究活動を行ってきた成果を発表し、互いに評価しました。同じ分野でも、それぞれ異なる視点からの発表に互いに刺激を受けたようでした。

《感想の一部》

- ・高校生らしい斬新な意見がたくさんあって面白かった。
- ・夏休みにインタビューしてきたことを班の人と協力してスライドでまとめることができた。
- ・地域の施設について今まで知らなかったジェンダーレストイレがあることなど知れてよかった。
- ・自分の足で実際にお話を聞きに行くことの大切さや根拠を持って提案をすることの大切さが身に染みてわかった。これから社会に出た時に必要な力を少し身につけられた。



## 1月30日(火)全体発表会が開かれました。

分野ごと発表会で選出された各分野の代表9班が、1, 2年生の前で成果を発表しました。ゲスト審査員に八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科 講師 井上 丹 氏、八戸市役所 総合政策部 政策推進課 主査 毛呂 新 氏をお招きし、本校の校長、教頭を加えた計4名による審査が行われました。また、希望された2学年の保護者の方も参観されました。



### 《結果》

1位 … 教育5班「ICTを活用した学力の向上」

2位 … 観光業2班「地域に根ざす是川縄文館を目指して」

3位 … 商業3班「外国人観光客を増やすには」

1位の班は2月7日(水)に青森市で開催された令和5年度「あおり創造学」プロジェクト事業成果発表会に参加しました。2位、3位の班は3月17日(日)にポータルミュージアム「はっち」で開催される「八戸学院大学 SDGsフォーラム」に参加します。ぜひ、ご来場ください。

## 2月7日(水)「あおり創造学」成果発表会に参加してきました。

1月30日(火)の全体発表会で1位に選ばれた「教育5班」の2名が、青森県総合社会教育センターで開催された、令和5年度「あおり創造学」プロジェクト事業 成果発表会に参加しました。

大きな会場を4つのブースに分け、一斉に発表がスタートしました。本校は2番目の発表でした。生徒は直前まで緊張していましたが、前日まで内容を練り直し練習した成果が出て、いざ始めると堂々と発表することができました。大勢の前で発表すること、より良いものにしようと自分たちの取組成果を改めて見つめ直すこと、同じ青森県でも地域によって課題が異なること、同じ高校生でも着眼点が異なることなど、多くのことを経験できました。



## 今後の活動

探究活動の最後の締めくくりとして、個人レポートを作成しています。完成したら、お世話になった外部機関の方々へもお礼を兼ねてご報告します。

## 最後に、、、

生徒たちは、探究活動を通して、少しですが地域の方々と交流し、さまざまな方に支えられて日々の生活が成り立っていることを知ることができました。ありがとうございました。

### 《1年間を振り返っての生徒の感想の一部》

- ・率先して動くことを高校生の今からやっていきたい。ボランティアや地域の活動参加や今できないことを前向きにやっていきたい。
- ・自分たちで一から考えたことを行動に移す力を学習や生活に活かしたい。
- ・自分たちが気になったことを調べたり、他のグループの発表を聞いたりして、八戸にたくさんの魅力があること、解決が必要なことがわかったので地域のイベントや事業に参加してみたいと思った。
- ・インターネットで調べるだけではなく、実際の現場に行き解決すると、疑問に思っていたこと以外のことも知ることができるので大切だと思った。そして、学校から案内された時以外でも自分から積極的に現場に行ってみようと思った。
- ・活動が終わってから、やればよかったと思うことが多くあったので、思い立ったらよく考えて尚且つ失敗を恐れずに思い切ってすぐに実行してみようと思った。まずは自分がやるということが大事だと思った。